

【2022 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 会話		選択必修	1	1.2	前期・後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
ジェイソン・ディーン・スタージョン	C309	jsturjeon	(火、金) 13:00~17:00		
授業の目的・概要	<p>目的：会話を成立させるための基礎文法を理解する。日常会話に必要な語彙やさまざまな英語表現を習得する。場面や目的に応じてコミュニケーションを積極的に図る態度を身につける。グローバル社会に対応できる視野や考えを持つ。</p> <p>概要：日常生活の身近な話題についての情報や考えを英語で理解・伝達する基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図る練習を行う授業形式となっている。イギリス・アメリカ等英語圏の国々の文化についても理解を深め、トラベル会話に役立つ実践的なコミュニケーション技法を習得する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	英語を話す方法を学ぶには、実際に話し聞く練習が必要である。そのため、クラス内外のさまざまな状況で英語を使うことが重要となる。				
教科書	必要に応じプリントの配布を行う。				
参考書	英和辞典 (授業に必ず持参すること)				
外部教材	無し				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	簡単な英会話に積極的に参加することができる。			HSU(2)	
②	簡単な質問、応答が英語でできる。			HSU(2)	
③	自分の家族や友達などについて英語で描写することができる。			HSU(2)	
④	レストランにおいて、よくある会話が英語でできる。			HSU(2)	
⑤	未来の予定を英語で話すことができる。			HSU(2)	
⑥	英語で道案内ができる。			HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オンライン英語の自己紹介を練習する。授業の流れについて知る。TEAMS でチャットグループの作り方を知る。	同時双方向型授業 ／講義・演習	TEAMS の機能をよく理解し、中・高校の英単語をできるだけたくさん覚えて、書き留める。		
2	自分の英語学習の経験を振り返り、どれだけ勉強したかと比較して、どれだけ話すことができるかを考える。Sid Efromovich のビデオを見て、彼のアドバイスをあなた自身の語学にどう活用できるか考え、授業で相談する。		家の周りのものを見て、それらを英語で説明しようと時間を費やす。言いたいのに言えないことに気づいてみる。		
3	“Native assistance”コミュニケーション戦略を学ぶ。配布された資料を使い、Yes/No 疑問文を復習して、練習を通しその使えるスピードを増やしてみる。		1		
4	“Gesturing”コミュニケーション戦略を学ぶ。配布された資料を使い、WH 疑問文を復習し、それを使うときに発生する可能性が高い間違いを知る。練習を通しその使えるスピードを増やしてみる。		1		
5	“Word Coinage”コミュニケーション戦略を学ぶ。英語で自由に話す自分を録音し、事前に計画されたスピーチを記録する。2つの録音間のスキルのギャップを考慮する。どのようにスピーキングを向上させることができるかについての先生からのフィードバックをもらう。(課題)		TEAMS(または授業中)で配布したファイルを復習する・クラスメイトと練習する。		
6	“Circumlocution”コミュニケーション戦略を学ぶ。配布された資料を使い、人や物を効果的に説明する方法を学ぶ。英語で物事をすばやく効果的に説明することを練習する。		1		
7	“Negative opposites”コミュニケーション戦略を学ぶ。配布された“information gap”資料を使い、言語的および非言語コミュニケーション戦略について学び、練習する。すばやく効果的に話すことに集中する作業を続ける。		1		
8	3~4 人グループで英語のみで話すことを通して問題を解く。クラスで学んだコミュニケーション戦略の練習を続ける。		1		

【2022 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

9	外国のレストラン文化とレストランで一般的に使用されるフレーズについて学ぶ。3～5 人の学生のグループで短いレストランをテーマにしたスキットを作成する。	同時双方向型授業 ／講義・演習	TEAMS(または授業中)で配布したファイルを復習する・クラスメイトと練習する。	1
10	英語のレストランのフレーズの練習を続ける。クラスメイトと一緒に作ったスキットをクラスで演奏する。			1
11	未来形を復習する。未来形を使って練習し、スピードを上げてみる。			1
12	友達と一緒に計画を立てたり、自分の将来の計画について話したりして、未来の時制をさらに練習する。			1
13	前置詞と方向単語を復習する。地図の配布資料を使用し、クラスメイトに道案内することで、これらの単語を流暢に話せるようにする。			1
14	OT / PT 患者評価セッションでよく使用される多くの表現を学び、ロールプレイを通じてそれらを実践します			1
15	コミュニケーション能力についての個人的な強い点と弱点を聞き、英語で数人の学生とフリートーキングする。 期末試験のガイダンスを行う。			1
試	3～4 人グループで英語のみで話すことを通して問題を解く。			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	0	50
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	30	0	0	0	0	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	50	50
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10

評価のポイント			フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
試験	①		試験：グループタスクを完成させる。(グループメンバー一人ひとりにある情報が与えられ、その情報を英語、コミュニケーションのテクニックを使い、他のメンバーに伝達する。グループメンバーは互いに協力し、問題解決方法を探す。) 評価：日本語を使わずに、正確に情報の伝達、解釈ができるかを評価する。(成績の 50%)	試験の評価、教員による個人的な助言・コーチング
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤	✓		
	⑥	✓		
その他	①	✓	成績評価は主に授業におけるスピーキングアクティビティへの積極的参加や、英語、コミュニケーションのテクニックを駆使する努力を評価する。授業内でのアクティビティは日本語を使用しないこと。加点は、英語の正確さよりタスクの成功や失敗に重点を置く。(成績の 50%)	教員からの個人的な助言・コーチング、スピードチェックの結果
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		

備考

他担当教員	
教員の実務経験	16 年間日本で英語を教えること、そしてその中の 7 年間は健康科学大学で英語を教えること。
実践的授業の内容	英語が話せると、普段接することのない人たちとのつながりができ、旅行がぐっと楽になる。また、外国人の患者さんに対応する場合、英語で話すことができれば患者さんと信頼関係を築くことができ、結果的に治療がスムーズに進む。
その他	学生は態度と英語を話すスキルに基づいて評価されるため(書式による課題はない)、出席と参加は非常に重要となる。クラスに欠席すると、その日は 0 点になる。 会話クラスの性質上、感染のリスクは通常よりも高くなる可能性がある。従って教室の換気が頻繁に行われるため学生は温度調整ができる服装で参加することを推奨する。また、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法(マスク着用等)を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。各クラスは 24 人の学生に制限されている。万が一、24 人以上の学生が同じクラスに登録した場合、一部の学生は登録を解除される可能性がある。

